



2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 ビケンテクノ
(証券コード：9791／東証スタンダード)



BIKENTECHNO
with advanced technologies

目次

3	当社およびグループ会社の概要
4	2027年3月期 第1四半期 連結決算の概要
5	1株当たり年間配当の推移
6	2027年3月期 第1四半期 連結決算 セグメント業績の概要
18	当社グループの成長戦略
25	当社グループのサステナビリティ戦略

経営理念

「お客様第一主義に徹する」

代表者挨拶

代表取締役社長 梶山 龍誠

私たちビケンテクノは1963年の創業以来、お客様第一主義の実践を理念に、ビルメンテナンス事業を中心として成長してまいりました。

お客様のお困りごとを解決するため挑戦を続けて幅広い分野へ事業を拡大してきております。

今、社会は地球環境問題や労働力不足といった大きな課題に直面しています。私たちは「先端技術のビケンテクノ」をスローガンとして掲げ、省エネ・DX・ロボット活用など独自の強みを活かし、持続可能な社会に貢献してまいります。

これからも創業以来の理念を大切に、安全・安心と快適を支える企業として挑戦を続けてまいります。

2027年3月期第1四半期 連結決算の概要

2027年3月期第1四半期 連結決算業績

(百万円)

	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期	年度予想比 進捗率	前年同期比 増減額
売上高	37,000	8,316	22.5%	-539
営業利益	1,600	439	27.5%	-118
経常利益	1,600	505	31.6%	-81
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,100	322	29.3%	-92

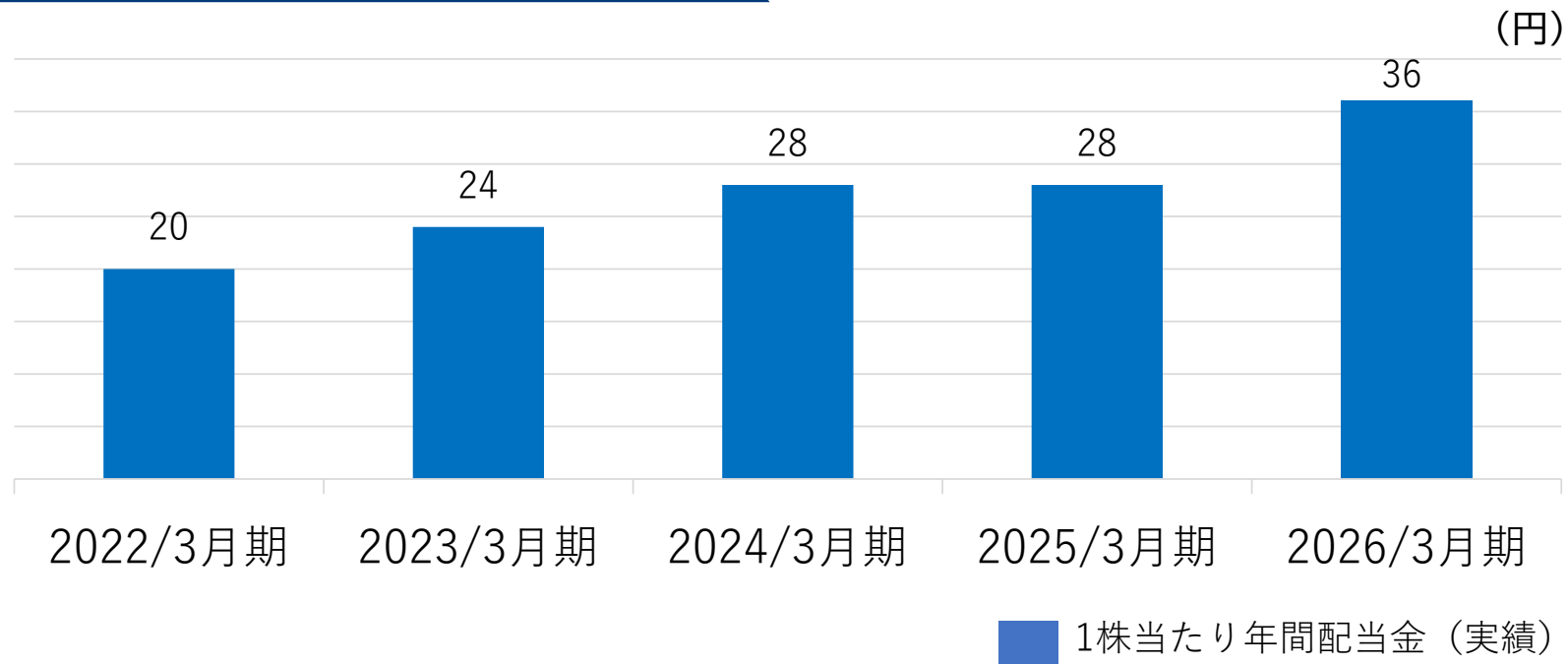
2027年3月期業績予想は2026年5月15日対外開示の数値。

2027年3月期第1四半期の実績が前年同期の実績を下回っている主要因は、前期には大阪・関西万博開催に伴う特別な業績の積み上げ等があったためです。

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

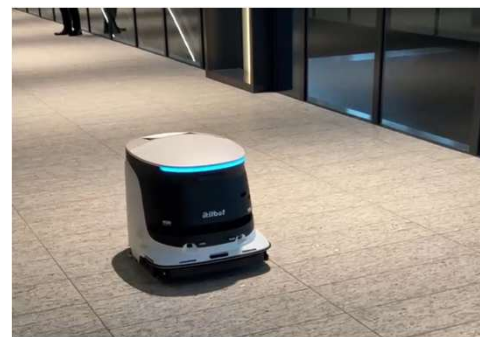
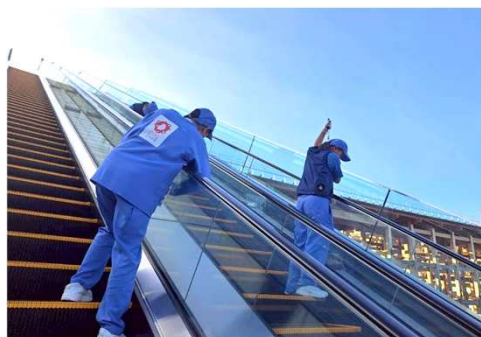
1株当たり年間配当の推移

1株当たり年間配当の推移



3月期末の1,000株以上の株主様へ従前実施していた当社商品による株主優待は、2026年3月末基準よりデジタルギフトに変更する旨を開示しています(株主優待の発送は8月下旬)。

ビルメンテナンス 事業



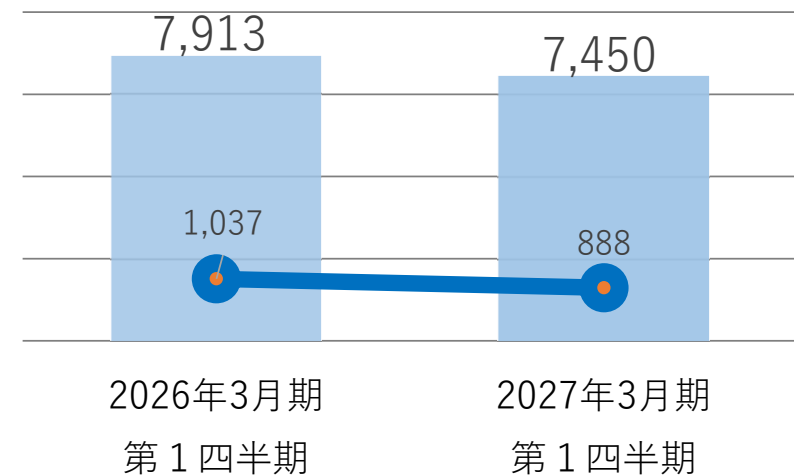
ビルメンテナンス 事業

大型再開発案件を含む新たな商業施設や物流施設等のメンテナンス業務の受注増等により業績の進展が見られています。しかしながら、前年同期においては大阪・関西万博開催に伴う特別な業務の積み上げがあったこと等から、前年同期との比較では売上高、営業利益が減少いたしました。

(百万円)

売 上	7,450 百万円
利 益	888 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



不動産事業

不動産 売買

不動産 売買仲介

不動産 賃貸

信託受益権 売買

信託受益権 売買仲介

不動産リノベーション等

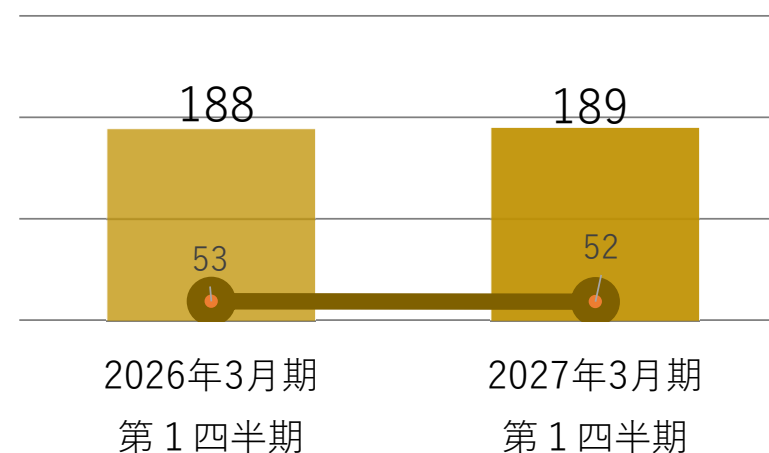
不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第1四半期連結累計期間においては前年同期と同様に不動産物件の売却がなかったことから、売上高・セグメント利益ともに前年同期並みとなりました。

(百万円)

売上	189 _{百万円}
利益	52 _{百万円}

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



介護事業

介護付有料老人ホーム **メルシー緑が丘**



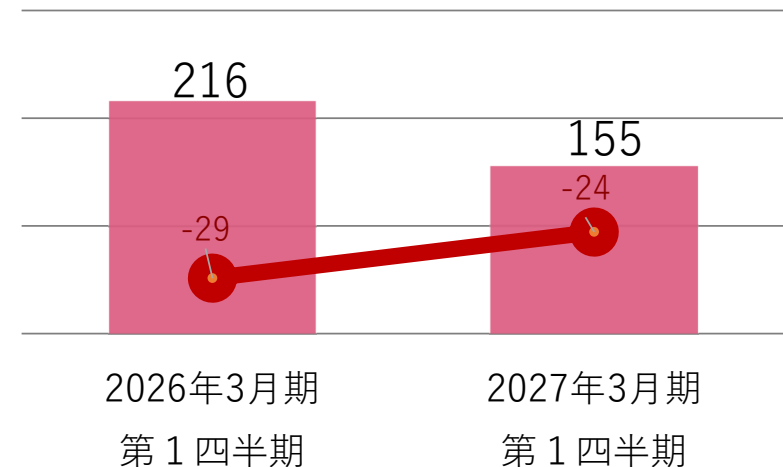
介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては2026年3月に事業譲渡した介護施設1施設の減少に伴い売上高は減少しましたが、セグメント損失は縮小しました。

(百万円)

売上	155 百万円
利益	-24 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



フランチャイズ 事業

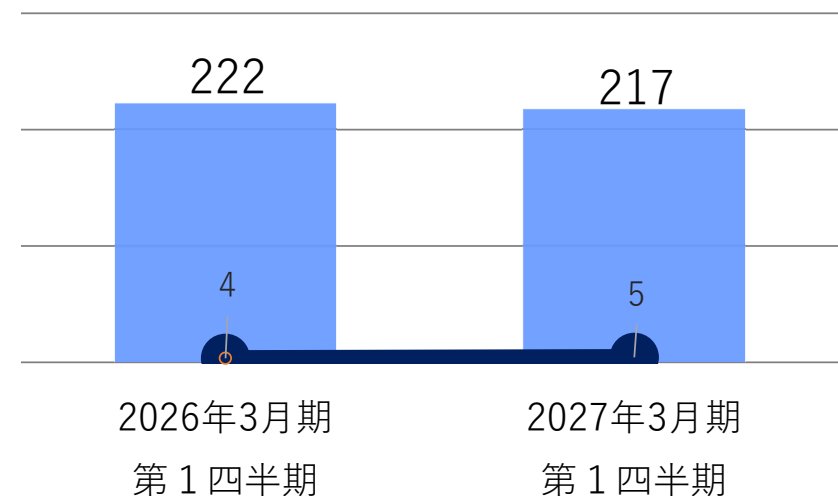


フランチャイズ 事業

フランチャイズ事業では、前々期・前期に各店舗の収支状況等を勘案したスクラップ＆ビルドを実施し、当第1四半期連結累計期間ではサルヴァトーレ・クオモ、プロント、ミスタードーナツ、自社ブランドの串揚げ店等の店舗展開となっております。当第1四半期連結累計期間においては前期の店舗見直し等により売上高は減少しましたが、セグメント利益は増加しました。

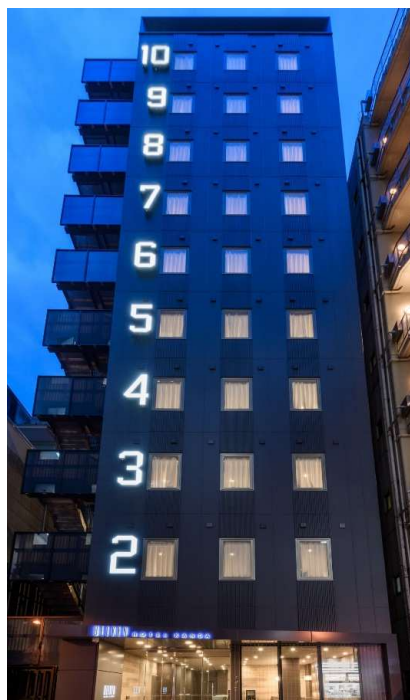
(百万円)

売 上	217 百万円
利 益	5 百万円



記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

ホテル 事業

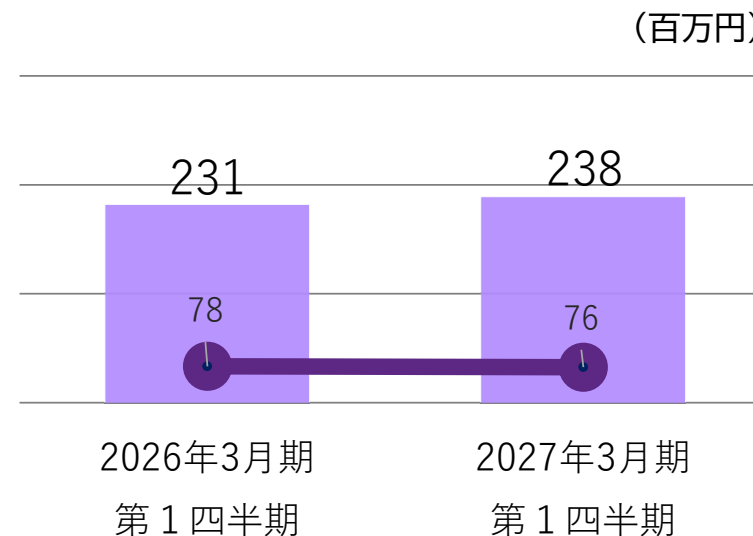


ホテル 事業

ホテル事業では、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しております。国内観光の活性化や出張需要の増加等により、稼働率・ADRがアップしましたが沖縄のホテルでは台風の影響もあり、前年同期と比較して売上高が増加した一方、セグメント利益は減少しました。

売 上	238 百万円
利 益	76 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



その他 事業

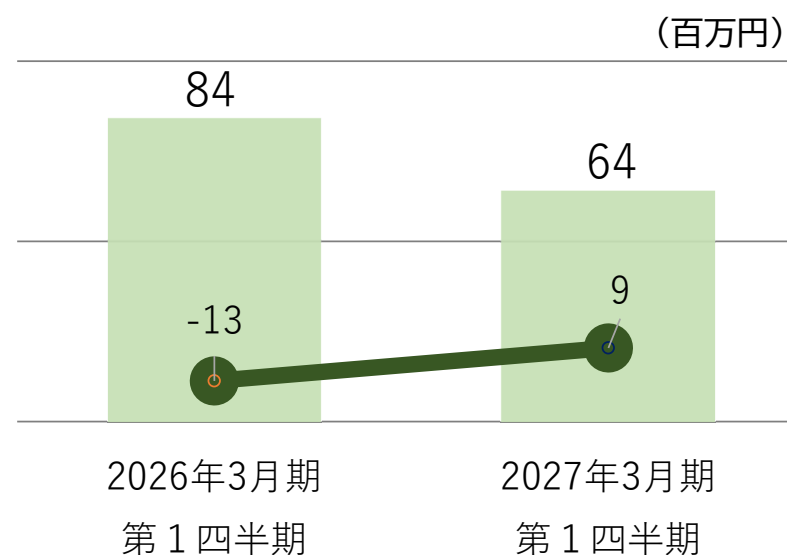


その他事業

その他事業では、前期に収支面で厳しかったフードコートの自社運営事業から撤退し、当第1四半期連結累計期間では太陽光発電事業・関連商品販売事業等を展開しております。フードコート自社運営事業の撤退により前年同期と比較して売上高が減少しましたが、セグメント収支は黒字化しました。

売上	64百万円
利益	9百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



グループ会社の成長戦略

当社にはM&Aでグループ化した会社を含め多くの連結子会社があり、それぞれ連携してお客様の多様なニーズにお応えし、グループ全体で成長してまいります。

【主な連結子会社】

(株)ベスト・プロパティ	創和工業(株)	(株)マイムコミュニティー	小倉興産(株)	SINGAPORE BIKEN PTE.LTD.
東京都港区	東京都世田谷区	東京都港区	福岡県北九州市	シンガポール
プロパティマネジメント /テナント仲介/ 売買仲介他	建物調査・診断/ 外装・防水改修工事 /大規模改修工事他	社宅管理代行/ 管理組合サポート業務 /不動産売買仲介他	リーシング業務/ フロント業務/アカウント業務 /コンストラクト業務他	ビルメンテナンス/ エアコンメンテナンス他
				

ビルメンテナンス事業の成長戦略（環境変化への対応）



- 当業界を巡る環境は大きく変化しており、環境の変化やお客様ニーズに即応した営業強化を図ります。
- 具体的には、首都圏や関西圏をはじめとする大型開発プロジェクトや、地方再生リノベーション案件などに対して、初期段階からの各種提案などに積極的に取り組みます。
- 業務推進にあたっては、お客様所有不動産の物件価値向上に向けて、徹底した衛生管理、省エネなどのエコチューニング提案、業務のロボット化などの品質重視の各種メンテナンス提案を更に推進します。
- 業務管理においては、工数管理の徹底、人材確保の多様化、人材育成の強化、業務管理のDX化などを更に推進します。

ビルメンテナンス事業の成長戦略（業務の拡充、再構築）



- 当社の強みであり従前より注力しているPPP事業案件、物流倉庫・データセンター等のメンテナンス業務、冷凍食品などの製造ラインの安全・衛生管理を担うサニテーション業務などを更に拡充します。
- 開発が進む横浜みなとみらい地区に将来を見越して前期にオフィスを賃借しており、横浜地区の業容拡大やグループ会社の本社移転などで営業活動を強化中です。
- 前期に「いのち輝く未来社会のデザイン」をコンセプトに開催された大阪・関西万博でのメンテナンス業務において導入した最先端の業務スキルを今期以降、他現場でも提案・実施し、業容拡大を図ってまいります。

ビルメンテナンス事業以外の成長戦略

- 当社はビルメンテナンス事業以外に、不動産事業、介護事業、FC事業、ホテル事業、その他事業を展開しています。
- それぞれの事業は、中核事業であるビルメンテナンス事業とのシナジーを第一義として展開しており、多くの相乗効果が生まれています。
- しかしながら、それぞれの事業は経済環境に影響される部分も多いことから、状況に応じてスクラップ&ビルドを考えながら展開してまいります。
- 前期は収支面で厳しい状況が続いた事業からの撤退として、その他事業ではフードコートの自社運営事業を2025年8月末に終了しました。FC事業ではやきとり家すみれ福島店を2025年10月末に閉店しました。介護事業ではメルシーますみを2026年3月に事業譲渡し、国際事業ではベトナムの現地法人を2026年3月に法人譲渡しました。これらは今期の収益改善に繋がる施策となっています。
- お客様には不動産に関わるファシリティマネジメントを展開する総合ビルメンテナンス会社として評価いただけるよう、日々尽力してまいります。
- 保有している不動産についても、所在している地域の再開発の動向などの情報を把握しながら、より効果的な活用などを検討してまいります。

グループ会社のトピックス

グループ各社のトピックスは下記のとおりです。

なお、(株)ベスト・プロパティと(株)マイムコミュニティーは2026年3月期にそれぞれ本社を移転し、活動しています。

■株式会社 ベスト・プロパティ

中長期的に物件を保有するJ-REIT物件のプロパティマネジメント業務の受託に注力し、J-REIT物件の受託物件数は全国3位、都心5区では1位となりました。

■創和工業 株式会社

天井板関連工事において、室内側の足場工事を不要とする「ラムダ工法」を得意とし、営業基盤の強化に取り組んでいます。

■株式会社 マイムコミュニティー

従来からの社宅管理代行業務・管理組合サポート業務・不動産売買仲介業務に加え、区分所有物件の管理業務にも拡大展開しています。

■小倉興産 株式会社

福岡県小倉地区の大型商業ビルの証券化にあたり、2025年11月に有限責任組合員としてLP出資に参画し、地域に根差したメンテナンス会社としての展開を図っています。

サステナビリティへの取り組み

私たちビケンテクノは、持続可能な社会に向けた責任ある経営を実践してまいります。省エネや廃棄物削減といった業務改善はもちろん、自社開発の環境配慮型商品や、グリーン調達の推進、外国人雇用・人材育成など、多角的にSDGsの達成に貢献していきます。

ビケンテクノが思い描く未来

ビルメンテナンス事業を通じて、省エネ対応と環境負荷の低減を追究し、持続可能な社会の構築に貢献します。



特定した重要課題と関連するSDGs

安心・安全

衛生的・健康的な建物空間の提供



環境

持続可能な資材調達の推進・環境配慮製品サービスの推進・エコチューニングの推進
再生可能エネルギーの活用



ガバナンス 企業価値

コンプライアンス・企業ガバナンス順守
DX・ITを活用した業務改革



人と社会の価値

人権尊重、差別の排除
雇用の多様化・障がい者雇用、高齢者雇用、外国人雇用
ワークライフバランスの整備



社会貢献

地域の人々の暮らしの質の向上
PPP事業による公共建物の維持・管理業務
医療・介護・保育事業による社会貢献
奨学財団の運営
地域貢献活動への参加

